

□いんたびゅう《珈琲飲みながら…》

世の中の原動力は女やしィ

大屋政子 に聞く

★親娘二代の血が、バレエ、オペラ、ゴルフへと走らせる
今秋、十月二日と八日の「第四回世界バレエコンペチ
ション」を大阪厚生年金大ホールで主催する大屋政子。
開催のために骨身を惜しまずフル回転する天下茶屋の政
子ちゃんを帝塚山の自宅に訪ねた。
——シユツツガルトの神戸公演を初め、バレエ公演が
あると必ず前列席に大屋さんがいらっしやる（笑）バレ
エのどこに魅かれるのですか。

「母親の血やね。母親がバレエとオペラが好きやった。
父親（故森田政義代議士）が文楽好きで、昭和九年頃、命
がけて文楽協会を作るのに走り廻っていた。今の津大夫
が津の子大夫で、お父さんが津大夫。古柳大夫とか、三
味線の綱三さんとか皆が家に来ました。月に一回必ず
文楽を観に行つて、長水というカキ船で食べて帰るの。
母親は、カービという大正十年にオペラ座が来たとき
帝劇まで私を連れて観に行つて。4歳の時から畳に
座らせないで育てられたから座りダコ
がない。お茶は立礼ばかり。母親が
堺の府立女学校の時に、たった一人ヴ
アイオリン弾いてピアノ弾いて、二百
三高地の髪でテニスしてた」
——ハイカラなお母さんと日本的なお
父さんですね（笑）

女の意地でこの秋第4回目の世界バレエコンクールを開く大屋政子さん

「だから私、義大夫も習つてたの（笑）
バレエとオペラとピアノと（笑）阿古
屋の琴攻めも唄えるのよ（笑）面白い
ね。親子二代の血やね。そして海外へ
出るようになってバレエとオペラとゴ
ルフで、その国の大臣や王様にお近づ
きになれたの。お父ちゃん（故大屋晋
三氏）が大統領や大臣に会いたい時、
私を先頭に行くようになるわけね」
——ご自分の文化蓄積が外交に役だつ





写真上は、第2回日本・世界バレエコンクール
下は大屋政子バレエスクールのスタジオで

ね。
「マリア・カラスが一九五九年にカンヌのカールトンホテルと一緒にご飯を食べましたね。それから、フランコ・マリノティは一九六七年に亡くなった。小学校しか出ていないけれどイタリア一の財閥でね。ルーヴル博物館みたいな家(笑)。その息子がもの凄いい男前でね。ところが、ドイツのヌード女優に惚れて、会社の株を売って…。三三年間、おじいちゃんが六〇%の配当をしていた。亡くなってすぐに副社長が社長になったらあつという間に無配になって、社長が六代変わったし、モンテ・カテニ、モンテ・ヒイビグレ、スニヤ・ビスコーサの三社が合併したね。モンテ・カテニも夢の織維っていわれたんやけどね。」

「そういう情報はどんな風にして…。」

「外国の新聞をいろいろ読む。ダンスはロンドンのダンス&ダンスサーズ、オペラもロンドンからね。それからオペラの一千曲載っている辞引とか。世界中の全部のオペラを発掘したら三千曲ぐらいある。私はまだ三〇〇ぐらいしか観たり聞いたりしてない。だからなかなかやね。室生ロイヤルゴルフの借金を返したら、五年位、海外で暮してオペラとバレエの勉強をしたいですね。」

★オペラ座の中の葛藤がオペラ座を大きくした。

「大屋さんの訳されたバリ・オペラ座バレエ(アイヴオール・ゲスト著)は、バレエ史として面白いですね。「あれを読むと世界のバレエ史が判るわね。しかし、オペラ座の中の葛藤も凄いい。葛藤があるためにオペラ座が大きくなって行くのね。だから、大屋さんは二度と再びコンペをすることは出来ないといわれているけど、四度目をこの秋に開こうとしているのは女の意地ですね。」

第三回目のオープニングに神戸のバレエ・ファンの女性たちで、風車を選手たちに贈ってくれたでしょう。選手が喜んでくれて、今度も、ぜひ応援に来てほしいわ。」

「世界のバレエ・コンペを開かれるきっかけは？」

「世界の経済摩擦。お父ちゃんが日米経済使節団のメンバー、日仏経済使節団とね。石坂泰三さんが経団連の会

たんですね。

「例えばサダト大統領。私はエジプト・バレエ団と知り合いで、バレエ団総裁がサダトさん。それでおつきあいできたんですよね。そして、副大統領のモバラクさん(現大統領)が、エジプトのバレエの日本公演をやるというたら、衣裳、装置すべての予算をつけて下さった」

「国際外交の文化面からおつき合いですと入り易い：「イランのシャー・ハン・シャー。ホメイニイにやられてガんで亡くなった。クインディイも、おばあちゃまのクインママ時代から親しくなって、自由に出入させてもらっていた。プロトコールがびっくりして、お父ちゃんがいランの勲一等をもらうことになったのも、政治や経済から行ったのではなかったから、いいおつきあいが出来たんです」

「すると、バレエやオペラやゴルフを通して世界の人々とおつきあいできたのは一番の財産ですな。」

「でも、お父ちゃんが元気な頃の、ICIの会長さんや大分定年でお辞めになりましたね。今、私がおつきあいしているのは世界の中小企業のオーナー社長ですな。」

過去十年、世界一の大金持といわれたポール・ゲティも死んだし、フランコ・マリノティ、そしてそしてオナシスも死にましたからね」

「オナシスとオペラはマリア・カラスで縁が深いです

長の頃。パリでも会議が、全部、奥さん付きだった。石坂さんが亡くなられて、その後、植村甲五郎さんになって奥さんが凄く弱い。男子だけが行く。アメリカへ行つた時、五人ぐらいいしか夫人同伴がいなくて、大使館からレディスの会へ行ってくれといわれて、皆、他の奥さんは行かなかったの私だけ出て行ったら、二十人位の奥さんから「つるし上げ」に会った。何が故にスタッグやと、世界中の会議は全部夫人付きやと、それやのに日本はどういう訳や、こういうことをする日本を軽蔑するといわれて。それを植村会長に訴えたら、出しゃばり過ぎといわれて日本の経団連の人々に袋叩きに合いました(笑)石坂泰三さんはえらかったですね。奥さんが亡くなられた後は、お嬢さんの三浦さんが替りをされて。東芝にピントクのシャワー室があって、タキシードを着替える部屋があったの。土光さんが社長になられたら、こんな女々しいことはできないと壊された、と聞いています。

外国の経済人は、夕方になったらシャワーを浴びてお衣裳を着替えて、オペラやお芝居や、パレエを覗に行く訳やからね。石坂さんが生きていらっしやったら経済摩擦も少なかったでしょうね。そんな夫人同伴で出席しないというような、さ細なことから摩擦が起ってくるのよ。だいたいパーティーや会議に、日本人やったらおヨメさん連れて行かないものね。風習の違いやね。」

「パレエ・コンクールは世界各地で開かれるのですね。市長さんと知事さんが訴えてパレエ・コンクールを始めたんですね。一九六四年にね。今やスウェーデン、ドイツ資本のホテルがずらっと並んでいる。年間一千万人の観光客が来る原動力になっているのがパレエ・コンクール。黒海に面した十キロの砂浜でどこにもないビーチ。シエネ・ビーチには三〇〇軒ぐらいいのホテル。六〇〇万の人口の国に一千万の観光客がくるの。共産圏やのに、パリからカジノやナイトクラブが、ホテルに来ていい。」

——一回、二回は東京、三回目は大阪、今度も大阪。

「あまりに何でもが、東京中心なので大阪で開くんです。一回目は河野洋平さんが一〇〇万円政府から補助金を貰ってくれて、二回、三回は三千万円ぐらいい。補助金を出してくれましたね。」

ただ、三千万円のために、会計検査員や、パーティー券がどうのと大変な足かせがあるのが判ってね。その時、私は、何倍もを後家やのに出してる(笑)今は後家やから、二年に一回はムリ、四年に一回やろうと、後家のガンバリやね。だから今、生命のある限り働いてパレエ・コンペチションをやるうとしてる。世界の中から来てくれるわよ。十月、二、三、四日。五日を休んで六日決勝戦、翌日がガラです。交通費がどう計算しても九千万円かかりそう。ヨーロッパだと交通費持ちでも、近いから各国二、三時間、新幹線の値段だもの楽ですよ。後は切符を売らないと」

——まあ、凄いですね。それは大阪の下根性ですね。大阪は日頃ケチだけど、遣うときはドバーツと使いますね。「娘がいうんですよ。お母ちゃんは普段よれよれのボロのもの着て、洗濯機三十何年使うてない。それに、だれも見てないけど便所へ行くときは部屋の灯を消すしね。社員に喧しくいうからには誰も見てないからとドバドバでまかせんよ」

——大屋さんや女性が創る文化というのは面白いですね。「チエコスロバキアのプラハにマリア・テレザのお城が二つある。ヴェルサイユの宮殿も、マリアアントワネット、クイーン・エカテリアの「エルミタージュ」の宮殿、クイーンエリザベス一世の「大英博物館」とか、女が創った文化遺産が、もの凄いい観光資源になっている。中国も西太后でしょ。みんな世の中の原動力は女やしい(笑)女は勘定がわからんよってに創るんと違う(笑)今や、この世界のパレエ・コンサートも勘定わからんよ(笑)落城すると淀君やし(笑)せめて切符を買って観に来て下さい。幾分か楽になりますのでね。応援してくださいね。」

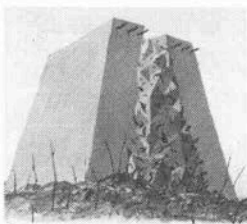
(カメラ/米田定藏)

経済ボケツト ジャーナル



★コウベウイル'84

5月8日～10日に開催
「都市に新しいファッショ
ン酸素を送ります」をテー
マに神戸ファッショニアソ
シエーション(KFA)が
総合個展を開催する。会期



権昇作のテーマモニュメント

は5月8日(火)から3日
間、会場はポートアイルラン
ド、神戸国際展示場。

神戸ファッションは優し
く、上品でエレガンスとの
定評があり、KFAは主力
グループの一つ。

今回の出展にはKFAメ
ンバー32社が揃い、品目も
レディース、メンズ、ベビ
ー、アンダーウェアや業界
紙など幅広い。業界注目の

イベントである。

★ファミリア副社長制の設
定と三本部制実施

ベビーと子供服の㈱ファミリアは副社長制を新たに設定、坂野惇子専務の昇進



惇子 元参与神戸支店長、河原久迪氏を



久迪 河原長となった坂野惇子新

副社長は「この地位で怠けさせてもらおうつもり」と怠け宣言。「社内交流の潤滑油役」にもっぱら専念するらしい。

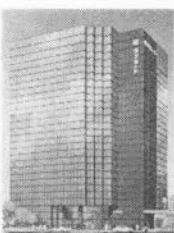
またこれを機に社内組織を変更する。河井昭広報室長によると「指揮系統と責任体制明確化のため、営業、商品、管理の三本部制を実施します。また東西一元化による強化も図る」とのこと。売上二百億円達成を目

ざし活発な同社である。

★神戸のビジネス拠点に

「リクルート神戸ビル」建設
ビル建設ラッシュの神戸
ビジネス界隈だが、市役所
花時計西側にも新ビルが工
事中である。

「リクルート神戸ビル」が



来年完成の予定

それで、㈱リクルートとい
えば急成長ぶりがつとに有
名。

同ビルの規模は地下二階
地上十三階。敷地面積一七
五・七九平方呎。外観は
ブルーの反射ガラスにおお
われ、館内は「無駄なスペ
ースのない機能性を重視し
た」ものとなっている。

事務所、店舗が入る予定
で、来年三月には完成。

★メリケンパークに

東洋一の超高層ホテル
神戸市が開発中のメリケン
パークに東洋一の超高層
ホテルが建設されるもよう
である。建設計画は三井物
産で、これに来島どつくグ
ループが新会社設立に協
力、経営にはオリエンタル
ホテルがあたる。これによ
り神戸ホテル戦争はますます
拍車がかかりそう。

同ホテルは五十階建て
(百八十室)、客室数千二百
三千人を収容できる大宴会
場やプールを併設、総投資
額は五百億円。六十二年に
完成予定となっている。

神戸港中突堤「メリケン
波止場間に誕生するメリケ
ンパークの超目玉となるこ
とうけあいである。

★KOBEOファイスティ★

幸前 洋子さん(25)

〈ジョン・スワイヤ エンドワサ〉
〈ジョン・ジャンパン〉リミテッド



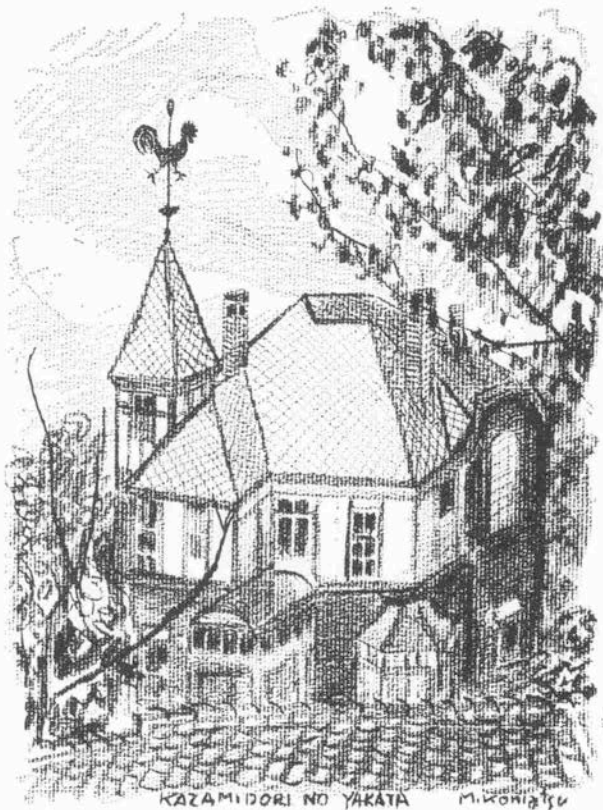
父親の仕事(高船三井)の都合で昨年6
月神戸に転勤。船船一家。高校時代NY
に2年住む。「英語は話すに苦勞しない」
から現在の仕事には最適。外国船客の接
待、貨物船のオペレーション業務を明る
くこなす。「乗り物には酔うから船も弱い
と思う」が笑いを誘う。ひょうきんでス
ポーツマンの時任三郎タイプが好み。

●小松益喜と歩く…

異人館のある風景

さわやかな風が走る五月の北野町界限。半世紀にもわたって異人館を
描きつづける小松益喜画伯とともに、歩いてみませんか、坂道を…。

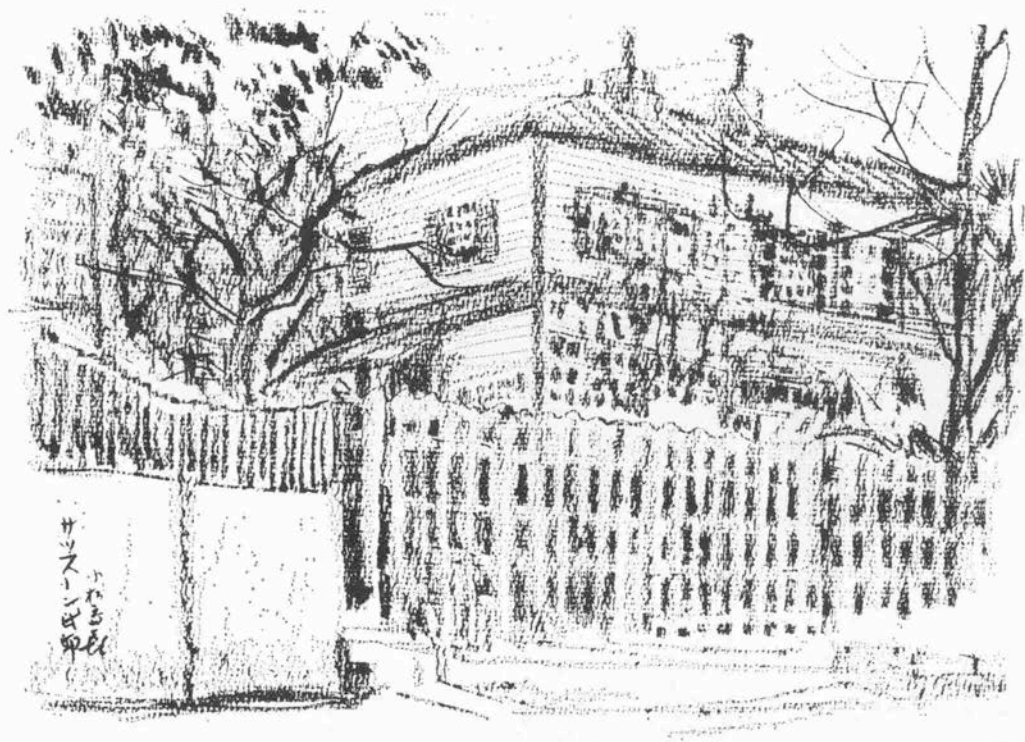
風見鶏の館



ゴシック風の急勾配の屋根の頂部に魔除けの風見鶏があるので、「風見鶏の館」と呼ばれる。ドイツ人貿易商トーマスが、明治42年に同国人のデラランデの設計で建てたもの。煉瓦と石造りの地上2階地下1階の3階建てだが、ドイツ風の重厚な趣きがある。新日本汽船天神寮、中華同文学学校寮として使われたあと、現在は内部が整備され一般に公開されている。居間にはトーマスの娘エルゼ・カルポー夫人寄贈の往時の家具が置かれている。

●開館/午前10時～午後5時 火曜日休館（無料）（5月末日まで修理のため閉館）

サッスーン邸



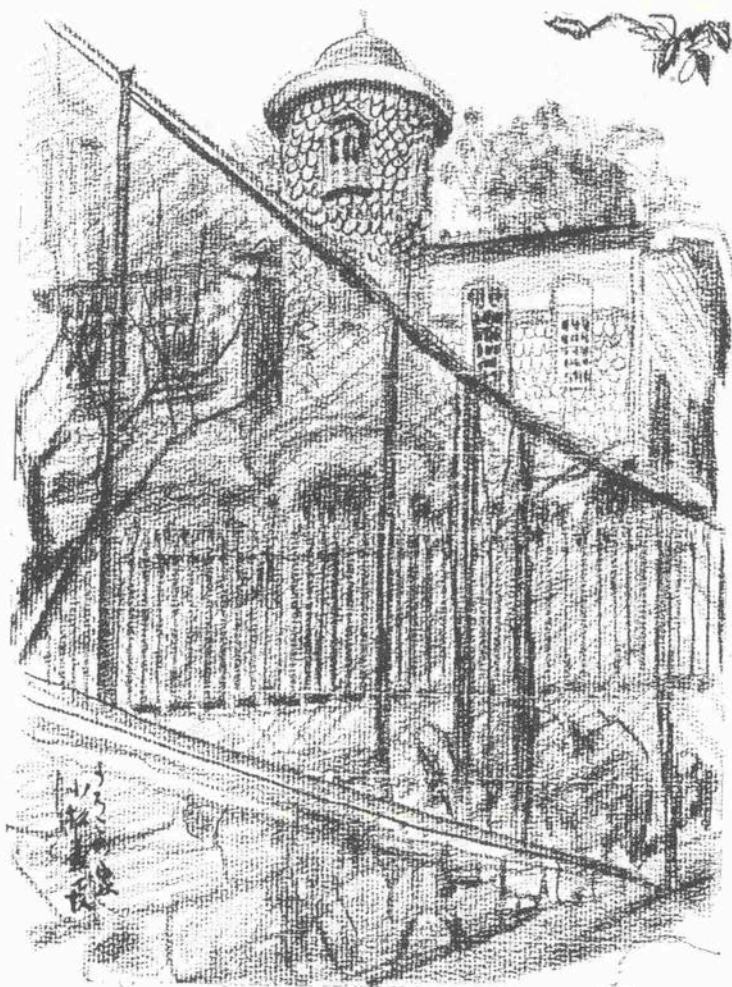
サッスーン邸

史跡三本松不動院のある不動坂を登ると、左手に鮮やかなグリーン色の板塀とクリーム色の外塀の異人館がある。サッスーン邸だ。木造2階建て、黒瓦葺きで、茶色の煙突が目につく。南に面して庭が広がっているので陽当たりがよく、全体に南欧的な明るさの感じられる異人館だ。異人館カラーともいべきグリーンが、緑の多い不動坂回りとうまくマッチしている。この家の向かいには、ドイツパンで有名なH・フロンドリーブ邸がある。

うろこの家

うろこ状のスレート壁面と塔屋をもったユニークな建物で、「うろこの家」として一般に公開されている。大正時代の建築だが、建物の中央の塔屋の正面が玄関になっていて、張り出し窓（ベイウィンドウ）も鎧戸がなくなり、造りはシャレている。北野の高台にあるので、塔屋（展望塔）からの眺望は素晴らしい。喫茶室もあり、憩いの場として親しまれている。二年前から西隣に同様のスタイルで、美術館「うろこの館」が併設された。

●開館／午前10時～午後5時 無休（有料）





英国館

英国人の設計により、明治40年に建築された。最後の住人は、ドイツ人のドクター・フデセック。現在は一般に公開されている。館内には建築当時の英国、つまり、ヴィクトリア王朝末期からエドワード王朝期頃に、英国の日常生活で使われていた家具調度品、装飾品、小物類が英国古美術協会の時代考証によって部屋毎に展示公開されている。外壁はフデセックによってドイツ壁に替えられたが、それ以外はすべて建築当初の姿を保っている。

●開館/午前10時～午後5時 無休(有料)

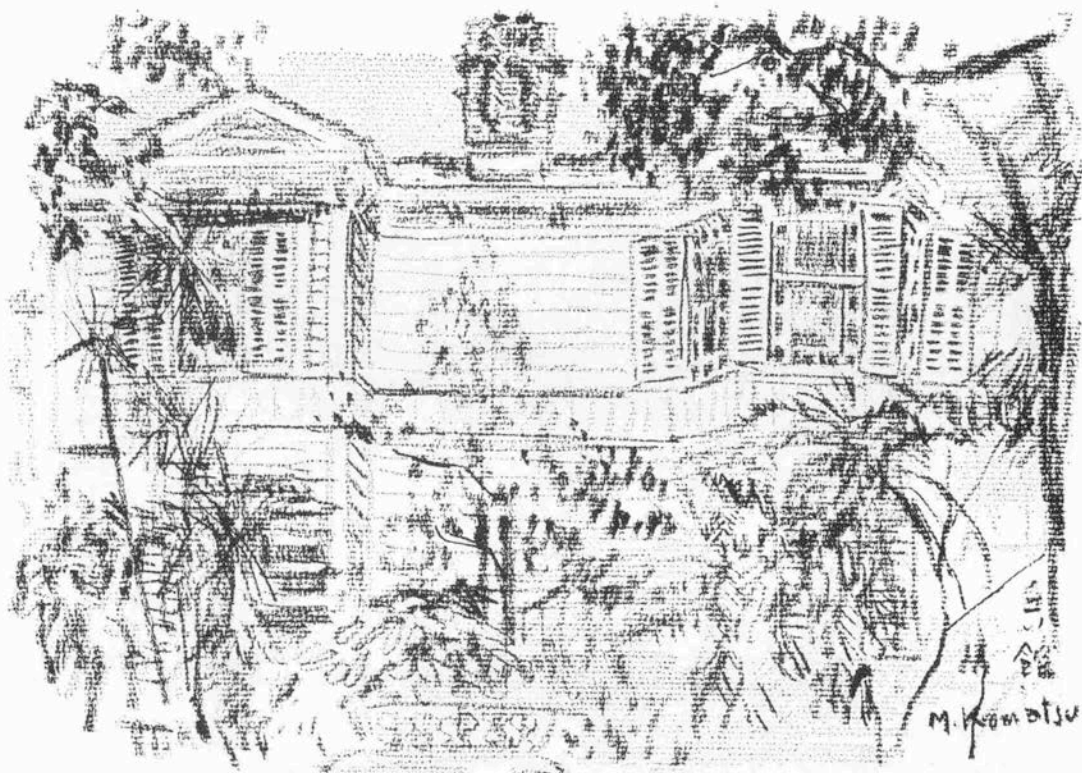
ラインの館



明治32年にドレウエルの依頼で、ハンセルが設計をした。現在は「ラインの館」として一般に公開されている。木造2階建て寄棟造りで、2階中央の突き出した部分の三角形の妻部に「M」の字の花模様の細工が施されている。ちょっとしたミニコンサートに使いそうな石造りの舞台のある広い庭とテラスがあり、1階はユーハイム経営の喫茶室とショップ、2階はギャラリーなどに使えるスペースがある。ショップにはドイツグラスなどがある。

●開館/午前10時～午後6時 第3木曜日休館(無料)

白い異人館



西の門を入ると楠の木立の間から、赤レンガ造りの見事な造形の煙突と、白壁に二つの張出し窓が見える。現在、「白い異人館」として公開されているが、もとは明治36年にシャアプ邸として建築された。設計はハンセル。中廊下をもつ木造2階建ての典型的な箱型プランの家で、玄関ホールのステンドグラスや階段などに豊富な飾りがあり、青い西洋瓦と白壁の対比も美しい。1、2階とも応接セットなど家具調度品がうまく展示されている。

●開館/午前10時～午後5時 無休(無料)

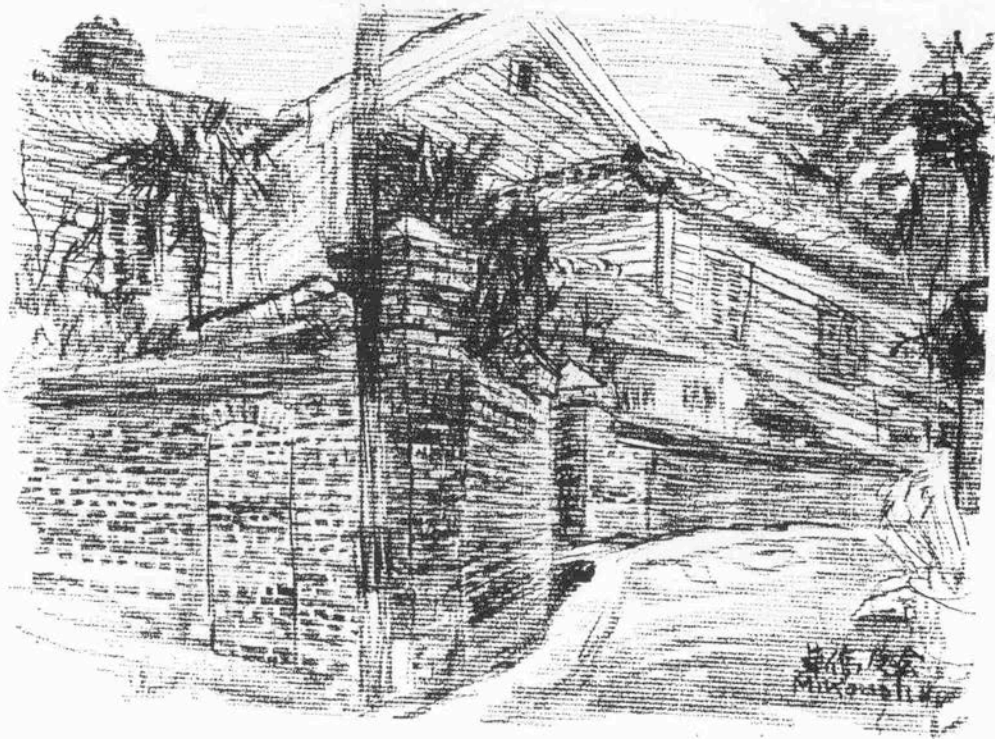
旧スタデニック邸



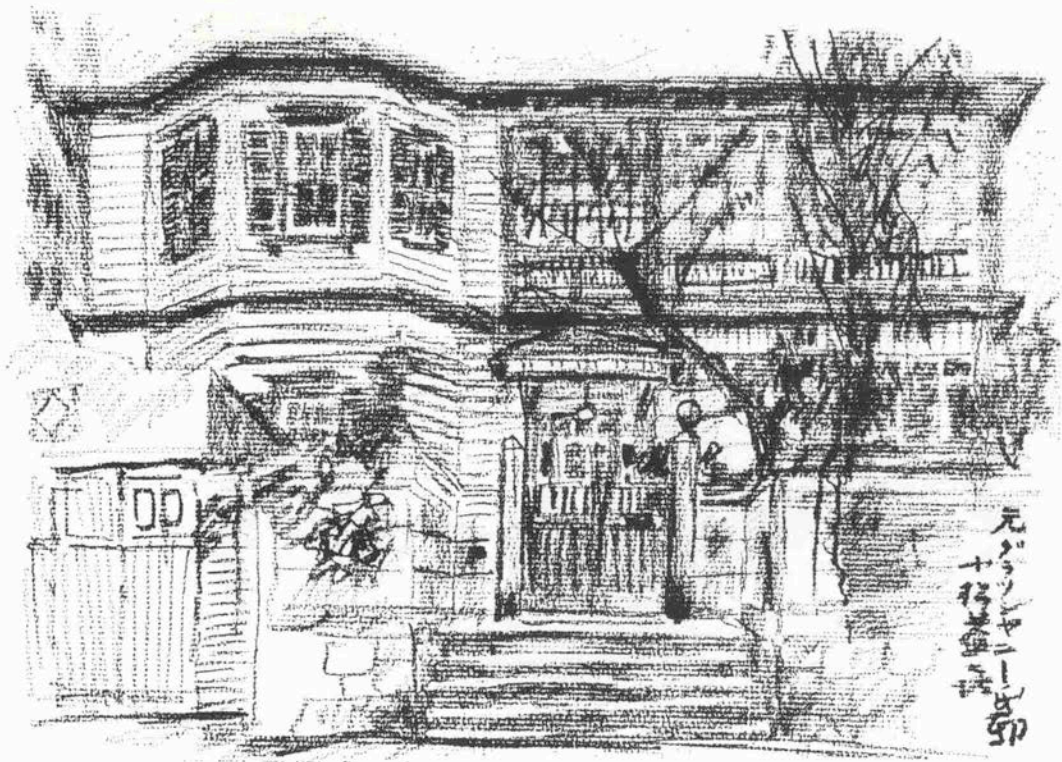
旧スタデニック邸は、現在、ブチックとして使われている。前庭の木立ちの間から瀟洒なたたずまいをみせていて、まるで、小柄な貴婦人のようだ。1階ベランダのフランス風の窓も洒落ていて、優美な姿の異人館だ。ファッションナブルな商品を扱っているだけに、若い女性の客が多く、華やいている。かつてここを訪れたとき、開かれた窓からピアノの音が流れていた。その昔には異国の貴婦人が住んでいたに違いないと、そう思ったものだ。

神戸 華僑総会

明治42年に、ドイツ人のグゲンハイムが自邸として建てた。戦後すぐには神戸華僑総会の所有となり、裏（北側）に増築された部分を事務所とし、2階建ての本館は会議やセレモニーなどに使用されていた。木造2階建ての堂々たる建物で、表は異人館通りに面し、高い石垣の上に位置している。裏道から見ると、背の高いヒマラヤ杉を背景に建物の美しさがよく分かる。東隣の異人館倶楽部の賑わいをよそにひっそりと静まりかえっている。



グラスシャニー邸



元
グラスシャニー邸
十
七
年
建

この異人館は、明治30年頃につくられたと思われる。おおむね標準的な異人館建築であり、木造2階建て、寄せ棟づくり、下見板張りオイルペンキ塗り、黒瓦葺きで、異人館通りに面して張出し窓、東側にベランダがついている。上げ下げ窓、よろい戸も見られる。この家の向かいにはローズガーデンがあり、さらにシュエケ邸、門兆鴻邸と続くファッションブルな界限だけに、地味で目立たないが、今も“異人”が住む数少ない館の一つだ。

シュエケ邸



神戸の異人館建築に大きな貢献をしたのが英国人建築家のA・N・ハンセルだが、このシュエケ邸は、かつてハンセルが自邸として設計したものだ。それだけに、屋根に取りつけられた鯪（シャチ）、ヴェランダの手摺り状の柱、階段親柱や暖炉などに見られる英国ジャコビアン風の扱いなど、随所に“遊び”が見られ、専門家の目には興味の尽きないものであろう。西隣の門兆鴻邸と共に、住人の居る異人館としては逸品だ。明治29年建築。

Spring Special キタノ ナイト Kitano Night

5月30日(水)
31日(木)

只今、チケット発売中！

本邦最高の超デラックスなラテングループ

ペドロ & カプリシャス

ディナーショー



プログラム

ディナータイム	5:00~10:30
ショータイム(1回目)	7:45~8:45
ショータイム(2回目)	9:45~10:45

メンバー紹介 ●ペドロ梅村(リーダー)、関森 清(キーボード)、かとうなお(ボーカル)、せきどまゆみ(ボーカル)他7名。総勢11名。

¥18,000<buffetディナー、フリードリンク、税、サービス料込>

年中無休



レストラン・ナイトクラブ **北野クラブ**

神戸市中央区北野町1-5-7 Phone 222-5123

駐車場有

●ファミリア北野坂ハウスが2軒になりました

淡いグリーンのアリーアメリカンな色合いを思わせる外観とシックで落ち着いた店内が若い女性やミセスに好評のティールーム、ファミリア北野坂ハウス。その北西側に5月2日新館がオープンする。やはり2×4のバルコニーがあるアリーアメリカンスタイルで白っぽい外観。一階はピーカンスタイルの商品やティンズ物、アクセサリー等の小物を販売する



宇津隆平氏、デザインは息子の誠二さんが手掛けた。1Fはアティックで「ピンキー&ダイナ」「モード・エ・ジャコモ」のブランド。2Fは流麗経営の現代的割烹、3Fは多目的ホール(地下は未定)となる予定。山本通2

宇津隆平氏、デザインは息子の誠二さんが手掛けた。1Fはアティックで「ピンキー&ダイナ」「モード・エ・ジャコモ」のブランド。2Fは流麗経営の現代的割烹、3Fは多目的ホール(地下は未定)となる予定。山本通2



「リトルシヨップ」とアイスクリームやケーキを食べながら休息できるファミリーレストランコーナー。二階は「リトルキャタリー」で展示会や催物に利用できる。子供の日には汽車が走

●ドイツワインのローテ・ローゼに本格的ワインケラーが

ドイツワインベストインポーター、ドイツ商事のレストラン、ローテ・ローゼがスペースを拡張。ワイン、料理ともにメニューが充実した。理想の温度と湿度を保つワインケラーに眠る3万本のワインの中から、お気に入りのワインを気軽に試飲しながら選べるのが嬉しい。新しくグレートワイナー・ワインも目

るなど楽しい行事が企画されている。竹内重幸店長は「新館も明るい健康的なイメージで若い人達にもお楽しみいただけるよう、どんどん新しい企画を考えていきたい」と大ハッキリだ。
北野町2(222) 3535



あなたもワインケナー(通)にノミえするはか、近年最も出来の良かった智恵トラックがかなりあるそう。ランチは¥2500(グラスワイン付、デ

イナリは¥5000から、またお昼のひととき、手作りのお菓子(お茶)¥600(ミニオードヴルとワイン)(¥1000)で楽しめる。50名までのディナーパーティー、70名までの立食パーティーもOK。お店におられるソムリエの千川啓子さんがワインの楽しみ方を親切に教えてくださいませ。

●ローズガーデンがバラに包まれる3日間

北野町4-9-14(222) 3200
(222) 1200
5月18日(金)~20日(日)
ローズガーデンにて

●風見鶏の館、うるこの家

神戸のシンボルでもある異人館、風見鶏の館は築後74年になる。屋根などの傷みが予想以上に進んでいるため昨年12月から全面的な修理工事がすすめられている。今回の修理にあわせて、室内などを

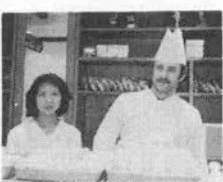


今年も兵庫県バラ協会・ローズガーデンの主催で、春のローズフェアが展開されます。この催しはバラ栽培の普及をはかることと「花いっぱい運動」を推進し、平和で健康・情操豊か・うるお

建築当時に再現するための調査もすすめている。再オープンは5月下旬の予定。またこの家の家も修復のため6月1日~7月10日の閉館する。でも隣接のうるこの美術館はオープンしています。

●アランが心込めて焼くトラディショナルなフランス菓子

来日8年目のアランさんが今春山手通にオープンしたフランス菓子とチョコレートのお店「アラン・カスケピッチ」は伝統的スタイルで、何よりおいしいお菓



子のお店、と評判。アランさんは14歳からお菓子づくりは、筋力よく、フランスのようにつけるカクエを作った

10AM~11PM 日曜定休
山手通1-13(7-331)9358

北野からマイクロ・カオスへの誘い

実験交流サロン

シアター・ポシェット



★シアター利用のご案内

- 曜日、時間 / 土、日曜日 (通常) AM10:00~PM8:00
- 費用 / ホール設備の使用無料。光熱、空調、管理費のみ実費
- 付帯設備 / グランドピアノ・エレクトーン・録音、音響機器、ミキサー、照明コントローラー・テープレコーダー、マイク、映写機等
- お申し込み、お問い合わせ

そごう前センター街東南角、さんちか入口

〒650 神戸市中央区三宮町1丁目5-1 住友銀行ビル6F
佐本小児歯科 佐本進 ☎331-6302~3



神戸発全国便

小さな引越受付中

24時間営業 / 年中無休

【梱包便】電化製品、家具類、エレクトーン、自転車等
美術品、骨董品 (どんなワレ物でも御相談に
応じます。但し地域限定)

ユーミナルサービス

(〒658) 神戸市東灘区住吉南町1丁目10-1

本社 ☎(078) 822-1700 (代)

芦屋営業所 ☎(0797) 23-6710

●ダゴさんちで スペイン語習いませんか



ダゴさんの息子達も立派な通訳！

チリ料理のレストラン、「グセラ・ミカエラ・イ・ダゴ」は神戸会館の事務局でもあ

と書かれており、神戸在住の約150名の信徒の宗儀式と類似の場となる。4月29日から5月5日までの1週間、ボンベイからアリスト(宣教師)が来神、ジャイナ教独特のセレモニーが連日繰り広げられるので、通りがかりにぜひのぞいてみた。寺院は朝7時~12時、夜6時~7時半まで開いており、マナーさえ守れば見学もできる。

詳しくは地区グループで活動しているK・S・P. パリクランさんまで英語で「山本通2(222)69110」

Visual Mag. Disk Gallery



雑誌創刊ブームが続いているが、その中でもどカイチ、マガジンフリークにお薦めものが「Disk Gallery」だ。

ニューウェーブ系中心のレコードレヴュー。最新音楽情報はこの一冊でOK! しかし、レコード紹介に終始するだけの浅薄な音楽誌ではない。マルチ・ビジュアル感覚のエディティング

ここで、協会会長であり、シェフでもあるダゴベルトさんがスペイン語講座を開講、ユニバーシアードで来神する中南米選手団のためポランティエの通訳を養成している。講座は4月1来年8月まで。(受講料はお茶代付き月8千円・週1回)また毎週末曜日には夜7時から、常連客などが集まって、日本語とスペイン語が飛び交うインターナショナルムードのミーティングが開かれているので気軽に参加してください、とのこと。またダゴベルトさんは、中南米の文化を1人



●サイモンのアラビア料理レッスン

日本で初めてのアラビア料理店サラームのシェフ、イスラエル出身のエルマリ・サイモンさんにメニューの中から一番手帳に作れるアラビア料理を教えてもら

●神戸外国倶楽部は 敬遠しがちですが

トア・ロイドの突き当たり神戸外国倶楽部、日本人は残念ながらメンバーになれないのでこの利用することはできないが、時々公的に演劇(もちろん英語)やバザーが開かれる時には、ぜひ出かけてみたい。また、メンバー同伴であれば、プール、レストラン、バーなどあらゆる施設が利用できる。中には結婚式に利用する人も。

4月28、29両日、午後8時から東京の外

と融合し、サウンドが飛び出してくる。眼前には別世界が、異空間との遭遇。



その過程はネオ・シチュアルなビデオアートを見てみるようだ。Disk GalleryはARTだ。雑誌もARTにオブジェになった。

今後、MAG.の主流はこういうものになっていくだろう。これからも、常に

でも多くの人に知ってもらいたい」とビデオの上映なども企画中。スペイン語図書の貸し出しもしている。ここは神戸で一番アットホームな大使館?かもね。中山手通2(17-12)(24)2760

●北野町で ジャイナ文化に触れてみる

5月4日、北野町3丁目に、現地様式をそのまま取り入れたジャイナ教寺院が誕生する。ジャイナ教寺院は、数多いインドの寺院の中でも随一の建築美を誇る

●CHAKHOUKA (チャクホカ)

材料(1人前)トマト大1個、ピーマン2/3個、玉ネギ小1個、ニンニク少々、卵1個、塩、こしょう、パプリカ、カイエンペッパー各少々。作り方トマトは熱湯でサッとゆで、皮をむき1cm角にきざむ。ピーマンはガスの火であぶり、水につけて皮をむき縦切りに、玉ネギはみじん切りにする。フライパンにオリーブオイルをひき、玉ネギトマト、ピーマンの順に入れて炒める。



国人劇団アルビオン座が「Our Japan Our Gaijoku」を上演。(大人2500円/一般の方も入場可)(24)2588

●ミルクバーでは英語が共通語

不動産にあるこのカフェバー、台湾出身のりー姉妹経営の北野の英語圏。英語大好き青年の溜り場。(24)9238

斬新な感覚を追求し、老舗として、ぜひとも生き残ってほしいものだ。発行者は、キタノサカサの佐藤雅一さん。市内内外の各レコード店、大学生協などで手に入る。

次号は6月1日に第6号として発行予定。(発行部数3千部)詳しくは神戸市中央区北野町4-9-6伊藤マシヨシ2F キタノサカサ(221)9294まで